

第25回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催:一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

1998年にスタートした当セミナーも今回で25回目を迎えることになりました。ひとえに皆さまのご支援ご協力の賜物であり、深くご感謝申し上げます。

さて、今年は関東大震災時朝鮮人・中国人虐殺事件から100年の節目の年にあたります。昨今、在日コリアンは命の危険に曝されるという危機的な状況になっており、100年前の悪夢が形を変えて繰り返されるのではないかと日々不安を抱えている現状です。

このような状況を踏まえ、当セミナーでは100年前の教訓を踏まえ、二度と同じ過ちが繰り返されないために、在日コリアンをはじめとする外国人の歴史・現状・法的地位などを中心に据え、民族差別を解消し、真の共生・ダイバーシティ社会を構築することを目的とした講義を用意しました。多くの皆さまの受講をお待ちしております。

－開催要項－

【日程】

第1期 2023年 6月29日(木) 30日(金)

第2期 2023年 11月10日(金)

第3期 2024年 2月9日(金)

【会場】 貸会議室内海3階教室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定員】 60人

【参加費】 ・受講料 30,000円(全講義)

・聴講料 a 3,500円(1講義)

・聴講料 b 7,500円(講義④のフィールドワーク)

・聴講料 c 4,500円(講義⑧の上映とトーク)

*KMJ会員の方は1割引です。

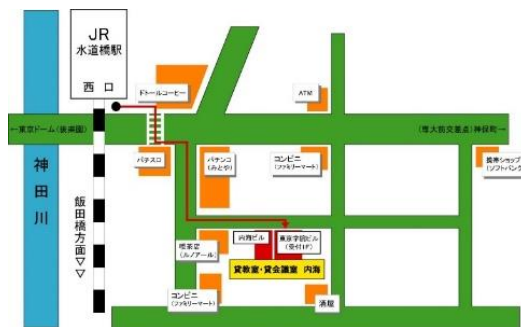
*経費が高騰しているため参加費を値上げせざるをえない状況になりましたことをお詫び申し上げます。

【お申込み方法】

6月23日(金)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。請求書をお送りさせていただきます。受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。当日のお支払いもご対応させていただきます。領収書は、当日、資料と一緒にお渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただくことで参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱UFJ銀行 生野支店 普通預金 3936599
名義 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター



【第1期講座】

一日目（6/29）

講義① 朝鮮女性史 Part 1

講師 ^ノ ^ゲ ^{スン} 盧桂順 女史（KMJ 副理事長）

歴史はどこの国においても男性を中心に語られてきましたが、女性も常に同伴者として存在してきました。盧先生は、東アジアの中でも特に儒教意識の強い朝鮮半島の歴史の中で疎外されてきた女性に光をあて、女性の目線から朝鮮の歴史を考察されています。盧先生には2回にわけて朝鮮半島の女性の歴史についてお話しいただきます。日朝関係やジェンダー問題について考えるきっかけになるでしょう。

【プロフィール】

1950年福井県生まれ。在日二世。朝鮮大学校歴史地理学部卒業。立命館大学文学部史学科東洋史卒業。岐阜県立女子短期大学非常勤講師。大谷大学非常勤講師。2023年5月、KMJ副理事長に就任。法廷通訳。「朝鮮通信使」研究会会員。著書に『朝鮮女性史－歴史の同伴者である女性たち』（東京図書出版、2020年）。現在『Sai』にて「朝鮮女性史」を連載中。

講義② 関東大震災時朝鮮人虐殺100年を考える I

朝鮮人はなぜ殺されたのかーその背景と現代に至る問題

講師 ^{とのむら} ^{まさる} 外村大さん（東京大学教授）

関東大震災時になぜ朝鮮人は虐殺されたのでしょうか。そしてなぜ警察や軍隊、そして市民が虐殺にかかわったのでしょうか。そして、そのトラウマは現代にまで引き継がれています。外村先生には、その背景を明らかにしていただき、現代に至る課題についてお話しをいただきます。

【プロフィール】

1966年、北海道生まれ。1984年早稲田大学入学、学部卒業後、同大学大学院文学研究科史学（日本史）専攻。その後、早稲田大学社会科学研究所助手、韓国高麗大学外国人研究員、一橋大学非常勤講師などを経て、2007年より東京大学大学院総合文化研究科准教授、2015年より同教授。専門は日本近現代史、日本と朝鮮との関係についての研究。著書に、『在日朝鮮人社会の歴史学的研究～形成・構造・変容』（緑蔭書房、2004年）、『朝鮮人強制連行』（岩波書店、2012年）。

講義③ 東京セミナー25周年記念

在日コリアン人権運動の歴史と現状そしてこれから

講師 ^コ ^{ギョン} ^{イル} 高敬一さん（KMJ 事務局長）

在日朝鮮人運動の原点となった朝鮮人連盟から朝鮮総連、韓国民団の結成。在日コリアンと日本人の協働で生まれた民闘連。それらの時代背景、運動理念を明らかにしながら、民族差別撤廃運動のこれからを考察していきます。その一つの成果として本セミナーがあることを25周年を機に確認したいと思います。

【プロフィール】

1972年、大阪生まれ。桃山学院大学修士課程を修了後、在日コリアン人権協会に所属し、民族差別撤廃運動に携わる。現在、KMJ事務局長、NPO法人在日コリアン高齢者支援センターサンボラム理事長。

二日目 (6/30)

講 義④ フィールドワーク

テーマ 関東大震災時朝鮮人虐殺 100 年を考えるⅡ

横浜における朝鮮人虐殺の地をめぐる

案 内 関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会

【訪 問 先】(予定)

①高嶋山 ②反町公園 ③幸ヶ谷公園 ④埋めたて地 ⑤中村町周辺 ⑥宝生寺

関東大震災時、もっとも多く朝鮮人が虐殺されたのが神奈川県横浜だったようです。しかし震災後の政府による隠蔽工作で関連資料がほとんど残っておらず、調査は困難を極めています。そんな中、長年にわたり調査と追悼を行ってこられた「関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会」に横浜での朝鮮人虐殺実態とその跡地のご案内していただきます。

*フィールドワーク終了後に横浜中華街において、情報交換会を実施します。参加希望の方はお申し込み下さい。参加費などはお申し込み後の詳細案内でお知らせいたします。

【第2期講座】(11/10)

講 義⑤ 在日コリアンの国籍と法的地位問題

講 師 チョン ヨン ファン
鄭 栄 桓 さん(明治学院大学・教授)

在日コリアンの人権問題を学ぶにあたり「国籍」と「法的地位」の問題は基礎的内容です。当セミナーでもおなじみの鄭先生に同テーマについて基礎的なお話しをしていただきます。

【プロフィール】

1980 年、千葉県に生まれる。明治学院大学法学部卒、一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了(社会学博士)。立命館大学コリア研究センター専任研究員、明治学院大学教養教育センター専任講師、准教授を経て現職。専門は朝鮮近現代史・在日朝鮮人史。著書に『朝鮮独立への隘路 在日朝鮮人の解放五年史』(法政大学出版局、2013 年、第 13 回林鍾國賞受賞〔朝鮮語版〕)、『忘却のための「和解」』『帝国の慰安婦』と日本の責任』(世織書房、2016 年)、『歴史の中の朝鮮籍』(以文社、2022 年) 訳書に権赫泰『平和なき「平和主義」戦後日本の思想と運動』(法政大学出版局、2016 年)。

講 義⑥ コロナ禍における在日外国人の人権課題

講 師 鈴木 江理子さん(国士舘大学・教授)

3 年にもおよんだコロナ禍は、日本社会の排外的側面を浮き彫りにし、社会的弱者、特に在日外国人にさまざまな不利益をもたらしました。コロナ禍において何が問題になったのか。移住連などで在日外国人の生活支援に携わった鈴木先生にお話しをいただきます。

【プロフィール】

国士舘大学文学部教授。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)共同代表理事、認定 NPO 法人多文化共生センター東京理事等を兼任。移民政策や人口政策、労働政策を研究するかたわら、外国人支援の現場でも活動。主著に『日本で働く非正規滞在者—彼らは「好ましくない外国人労働者」なのか?』(明石書店、2009 年冲永賞)。共著に『アンダーコロナの移民たち—日本社会の脆弱性があらわれた場所』(明石書店、2021 年) など。

講 義⑦ 関東大震災時朝鮮人虐殺 100 年を考えるⅢ

朝鮮人虐殺をなかったことにしたい人たち

講 師 加藤 直樹さん（ノンフィクション作家）

関東大震災時朝鮮人虐殺 100 年を考える 3 部作の最後を飾るのは、ヘイトデモのカウンター活動にもかかわり、朝鮮人虐殺などなかったとの主張に論理的に反論し続けている加藤さんにお話しをしていただきます。虐殺否定論者のトリックを暴き、今を生きる我々がこの問題をどう受けとめ、これからの教訓にするのかを考えたいと思います。

【プロフィール】

1967 年、東京生まれ。出版社勤務を経てフリーランスに。著書に『九月、東京の路上で—1923 年関東大震災ジェノサイドの残響』（ころから）、『NOヘイト！—出版の製造者責任を考える』、『さらば、ヘイト本！—嫌韓反中本ブームの裏側』（ともに共著、ころから）、『TRICK 朝鮮人虐殺をなかったことにしたい人たち』（ころから、2019 年）。

【第 3 期講座】（2/9）

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

〔ドキュメンタリー映画上映〕（114 分）『ワタシタチハニンゲンダ』（2022 年）
2021 年春、名古屋入管でスリランカ人女性のウィシュマさんが 33 歳の若さで死亡した事件がメディアに衝撃を与えました。戦時中に行われた朝鮮人の同化政策、戦禍に巻き込まれた在日朝鮮人の生活権利を巡る闘争、外国人技能実習生の環境や難民に対する入管の対応などに問題の根を伸ばして描く、日本の不寛容と未来を問う人々の姿を見つめる作品です。

〔トーク〕（60 分）高 ^コ ^{チャ} ^{ニュ} 賛 有さん（監督）

朝鮮代学校卒。朝鮮関係月刊誌『ミレ（未来）』編集長を経てノンフィクション作家に。2015 年、ライフ映像ワーク設立。代表。自由ジャーナリストクラブ理事。ルポ『旧ソ連に生きる朝鮮民族』で部落解放文学賞受賞。2019 年、ドキュメンタリー映画『アイたちの学校』でキネマ旬報文化映画ベストテン。

【スケジュール】

6 / 2 9 （木）	6 / 3 0 （金）	1 1 / 1 0 （金）	2 / 9 （金）
9:30 受付開始	9:45 受付開始	9:30 受付開始	12:30 受付開始
9:55 開 会	10:00 レクチャー (神奈川県民センターにて)	9:55 開 会	13:00 開 会
10:00 講義①	11:30 昼 食	10:00 講義⑤	13:10 上映開始
11:50 昼 食	12:30 出 発	11:50 昼 食	15:05 休憩
13:00 講義②	17:00 終 了	13:00 講義⑥	15:20 トーク
14:50 休 憩		14:50 休 憩	16:20 質疑
15:00 講義③		15:00 講義⑦	16:50 終 了
16:50 終 了		16:50 終 了	

第25回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(FAX 06-6717-2702)

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 _____）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、盧先生の講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

講義①	「朝鮮女性史 Part1」 盧桂順さん
講義②	「朝鮮人はなぜ殺されたのか」 外村大さん
講義③	「在日コリアン人権運動の歴史と現状そしてこれから」 高敬一さん
講義④	フィールドワーク「横浜における朝鮮人虐殺の地をめぐる」
講義⑤	「在日コリアンの国籍と法的地位問題」 鄭栄桓さん
講義⑥	「コロナ禍における在日外国人の人権課題」 鈴木江理子さん
講義⑦	「朝鮮人虐殺をなかったことにしたい人たち」 加藤直樹さん
講義⑧	ドキュメンタリーの上映とトーク「ワタシタチハニンゲンダ」

フリガナ			
受講者		勤務先名 担当部署	
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）

*6/30（金）講義終了後の情報交換会

☐ 参加 お名前（ _____ ）

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター 担 当 高敬一（コ・キョンイル）まで 〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18 TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702 e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : http://kmjweb.com
